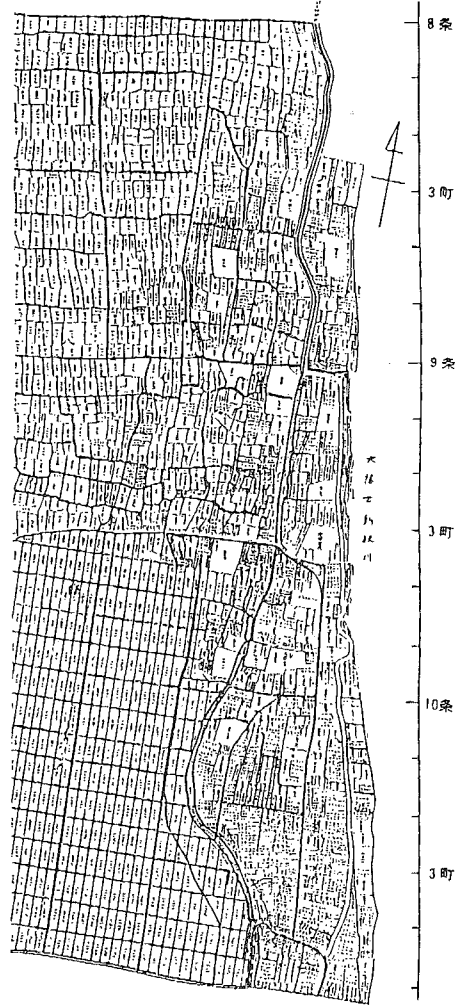


八潮の地名 その壱

八潮条里地積



注 昭和7年「八潮地籍図」
・図左下部の水田は、明治36年の和之村耕地整理を表す。
・図中の太線等はすべて史料に拠り編者の加筆等はない。

今月号から、八潮の地名の起立について考察してみたい。まず最初に八潮では、大字名の「八條」や小名、字、耕地名などの公称や俗称の地名を紹介したい。

八條大字の八條地名は、古代の一町(三〇×三〇m)方格の地制りの開拓の条里制に因む。条里とは、大化の改新(西暦645年)後、農地支給の口分田の必要性から、一定区割りの班田収授法(西暦701年)による開拓地のことである。平安初期ごろまで、条里制による開墾が行われたが、律令制の崩壊に伴い条里開墾が行われなくなった。南北の六町(三〇×三〇m)を条

條地籍図で、畦や溝、路に条里地籍を合わせると、「八條条里地積」となる。その地積分布をみると、八潮から三町目付近は半折型(三〇×三〇m)と長地型(三〇×六〇m)の混合、十から十一にかけての中川自然堤防上は長地型の水田や畑が分布することがわかる。

八潮は、公的には「八條」と記されている。八十を「はちじゅう」とよませた「ハチジウ 西勝院」(慶長6年「柿木東漸院文書」)があるのは、八十の略記をすることもあったようだ。

文芸欄

吳美代選

詩

春模様 伊草 阿部郁子

桜が散り、地は花びらの絨毯
花見に行きたいが、外は雨
ワインを注いでグラスを傾けると
ほろ酔い気分になった
生まれるも一人、死ぬも一人
短い花の季節
舞う花びらに心を乗せて
いつとき揺れてみたい、あのひと
花びらを酒に浮かせる
うす紅色の私の初恋よ
「オーイ！」夫の声に目が覚めた
桜が風に舞い上がる
(評)桜の花が、別世界へ連れていく
てくれたようですね。言葉が浮か
ないよう削りました。

短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃

替星の淡き光よ親しみし
炭鉱節の街の灯は消ゆ
咲き満ちて風に舞い散る桜花
ピンクの帯を川面に流し
柳之宮 平沼良子
桜咲き春雷電を連れ立ちて
花びら叩き落とす夕べに
八潮一 鈴木多津子
雨無情ガンの告知に言葉なし
冷たき雨は止むを知らずや
南後谷 杉村セツ
永年の奉仕実りて身に余る
評価を受けし思い出忘れじ
(市内老人病院にて)
浮塚 金子壽一
税金の解説書読む我が耳に
うぐいすの声かすかに聞ゆ

俳句

南川崎 松谷永子

そよ風にほのかに匂う梅の香の
心地よきなりベタル踏む身に
八潮五 小島しず子
梅の花両手にもって友きたり
花瓶にさしてしばし見つめる
二丁目 田中 忠
いとこの入学祝うママやさし
赤飯神に供え折れり
二丁目 田中祐子
散歩する道すがら文字声高く
読み取る姑の心はずみぬ
木曾根 高谷多門
桜花舞い降りる見てもふるさとの
吹雪く夕べを思い浮べる
二丁目 田中元三
過保護にて育ちし等は水ぬるむ
春の小川のせせらぎ知らず
南川崎 伊本則子
いつのまに春も終わりに校庭の
八重桜咲き多忙をきわむ
二丁目 平井石龍
庭一ぱい陽を入れた傘寿の日向はこ
風車眼もと優しい六地蔵
マランが花のトンネル駆け抜ける
中央一 山角微陽
藍の濃き江戸手拭いや沈丁花
春ゆかしモネを観る人袖着て
八潮六 藤崎政子
死者老いず生者老いゆく彼岸かな
散水や一人占める春の虹
八潮一 鈴木多津子
春の宵言葉失うガソリン告知
八潮七 石井忠枝
藤の房風を招いて遊びけり
八潮五 西森八重子
ちゃん付けの飛び交う春のクラス会
小作田 藤波ふみ
花冷えに屋台のおでん困む客
柳之宮 加藤龍子
行く春や吹き寄せられし花むくろ
八潮八 浅田淑子
風光るスパイファイラムの白き萼
八潮八 石井ナミ
入学の母子晴れ着の足はすむ
八潮七 鈴木義鳳
開花待つ櫻怨めし菜種雨
中央三 宇津木勝子
桜散りちようちん淋し春の雨
八潮五 広瀬キク江
春の朝琴の音届け病む友へ
鶴ヶ曾根 平本愛子
阿堤川面に映し花盛り
八潮七 茂村つ留
春浅き老人の眼に涙あり
八潮七 沼野あい
車座の訛飛び交う花の下
不揃いの頭を並べ葱坊主
(評)短歌も俳句も投稿が多く、載
らなかった方が多くありました。

草加市

○草加市消費生活展・記念講演会
日 時 6月14日(土)、午後0時30分～午後4時・15日(日)、午前10時～午後3時の両日、記念講演会は14日(土)午後2時から、参加費無料
場 所 労働福祉会館
記念講演会テーマは、真の豊かさを求めて「これからのくらしを考える」講師は、埼玉大学名誉教授の暉俊淑子さん
問い合わせ 草加市商工課消費生活係 ☎41-6111

三郷市

○ホップ・ステップ・ウォーキング
みんなで楽しく歩かせませんか。
日 時 5月24日(土)、午前9時30分～正午(雨天の場合は25日(日)に順延)
集合場所 江戸川河川敷(武蔵野線鉄橋下)
交 通 武蔵野線三郷駅から徒歩3分
コース 江戸川河川敷→清水公園(15km)
持ち物 昼食、敷物、雨具 参加費無料
問い合わせ 三郷市総合体育館 ☎53-6121

吉川市

○フリーマーケットの開催
活気あふれる会場へ、ぜひお越しください。
日 時 5月25日(日)、午前10時～正午
場 所 総合体育館内(吉川市上笹塚1-79)
出店数約50店
体育館内で行いますので、室内用シューズなどをお持ちください。
問い合わせ 吉川市商工課 ☎82-5111内線252

松伏町

○白鳥の池とスペイン風の風車
緑に囲まれた松伏総合公園。広々とした池に、噴水と滝、白鳥が優雅に泳ぎ、カモが水辺で遊びます。池のほとりには散策路、ベンチ、スペイン風風車があり、風車は公園のシンボリック的存在になっています。
交 通 東武伊勢崎線北越谷駅東口から「エローラ」行きバス終点で下車
問い合わせ 松伏町都市計画課 ☎91-2711

越谷市

○第29回 越谷市さつき大会
さつき愛好家が手塩にかけて育てた華麗な作品をご覧ください。
日 時 5月28日(水)～6月1日(日)、午前9時～午後4時(5月31日、6月1日は5時まで)
場 所 越谷市立第1体育館(入場無料)
交 通 東武伊勢崎線北越谷駅東口下車、南へ徒歩7分
問い合わせ 越谷市観光協会 ☎86-6111



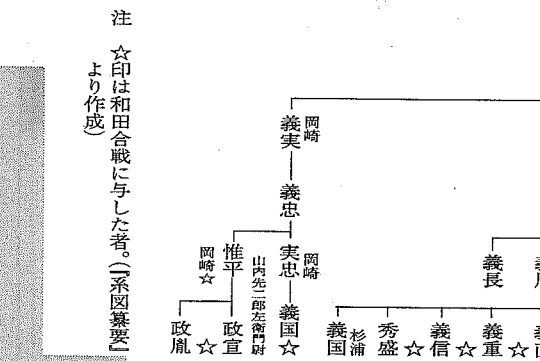
郷土の歴史 324

八條の地名 その式

八條郷「吾妻鏡」の建暦三年(三三三)五月十七日条に「武蔵国大河戸御厨内八條郷」と記され、「八條」の地名が見える史料の初見である。(史料2)郷とは、律令国家の地方行政の末端の組織で、国・郡の下部組織として、五〇戸を単位にして編成された。一〇世紀から一二世紀にかけて郷は、郡下の行政単位から、国内の所領単位の呼称に変化した。八條郷は、大河戸御厨内にあった三浦一族の岡崎氏(山内)の所領地であった。大河戸御厨は、源頼朝が寿永三年(一一四二)正月に平家に横領されていた源家の家領を、公私祈禱のために大

と記されるので、「崎西」は埼玉郡南部の地の近世の八條郷、「足立」は淵部のお式部大夫重清は、いかなる者か定かでない。史料1 源頼朝寄進状写奉寄御厨家合一處(埼玉郡)在武蔵國崎西・足立兩郡内大河土御厨者右、件地元相傳家領也、而平家處領天下之比、所押領也、而今新爲公私御折持、奉寄于豐受太神宮御領、所令動仕長日御幣・毎年臨時祭等也、抑令權神主光親・祈請天下泰平之處、依有感應、爲殊祈禱所、可令知行也、但於地頭等者、不可有相違、仍爲後代寄文如件、以解(史料2 吾妻鏡)壽永三年正月日 前右兵衛佐源朝臣(新訂増補国史大系本「吾妻鏡」)

御厨者 在武蔵國崎西・足立兩郡内大河土御厨者 右、件地元相傳家領也、而平家處領天下之比、所押領也、而今新爲公私御折持、奉寄于豐受太神宮御領、所令動仕長日御幣・毎年臨時祭等也、抑令權神主光親・祈請天下泰平之處、依有感應、爲殊祈禱所、可令知行也、但於地頭等者、不可有相違、仍爲後代寄文如件、以解(史料2 吾妻鏡)壽永三年正月日 前右兵衛佐源朝臣(新訂増補国史大系本「吾妻鏡」)



文芸欄

呉美代選

詩

切られた櫻 伊草 都築紀子
大通りにつながる細い道に
櫻の切り株が残っている
かつて屋敷の角で
樹齢を誇っていた櫻だ
屋敷が壊され、更地になると
ある日、電動ノコがうなりはじめた
そして深い葉に蔽われていた一帯が
何もなくなつて広い通りが生まれた
車がガタンと音を立て
荷台を傾けては、切り株の上を通る
切り口は石のようになり
年輪をくつきりと見せている
《評》長いこと生き続けた木が、人間の都合で切られるのは痛々しいですね。
鶴ヶ曽根 安藤知晃

短歌

鶴ヶ曽根 安藤知晃

古里のこみさわらび食む夕べ
早苗田渡る風の入り来る
南後谷 杉村セツ
三年越しほのかに咲きぬ薔ぎきょう
手掛けしをねがうがごと
八潮八 浅田淑子
桜散る会津の城を眺むれば
若きに散りし人ぞ惜しまる
南川崎 伊本則子
寝そびれて丑三時の静けさに
はるかかなたの鉄路のひびき
小作田 神場悦子
長年の務めを終えし夫と居て
言葉少なし昼食終える
柳之宮 平沼良子
ひくひくとおなかをふるわせ蜜蜂は
躑躅の花より飛び立ちにけり
浮塚 金子壽一
欄間より朝日が入りてなほ床に
もぐりて寝るは我れの楽しみ

俳句

二丁目 田中忠
鉄持つししばし休みて煙草吞む
野辺爽やかに雲雀鳴く声
古新田 横田八重
月満ちて生まれし孫の愛おしく
寝顔眺めて時間を忘れし
二丁目 田中祐子
真正面に姑と向かい生えしとき
過ぎし歳月疾風のごとし
八潮五 西森八重子
招かれて来し教室に子等の目を
集め俳句の出前講座す
木曽根 高谷多門
吾が逝けば散骨場所とあるさとの
津軽海峡イルカ群れ飛ぶ
二丁目 田中元三
これ飲んで憂きことあらば忘れよと
友より届く地酒うれしく
《評》載らなかつた方は、出された作品をもう一度よくご検討下さい。
八潮七 小倉孝義
新緑の木々それぞれに色直し
柳之宮 加藤龍子
母の日や亡母に託したきこと余多
中央三 宇津木勝子
隅田川ライン下りの花景色
八潮七 石井忠枝
青葉風児童と学ぶ句の時間
小作田 藤波ふみ
公園のぼらんこ揺る若葉風
八潮八 石井ナミ
葉桜の木もれ日染し遊歩道
八潮四 中村智代子
野菜置く無人売場や夏隣り
八潮一 鈴木多津子
風薫る窓開け放ち青畳
八潮七 鈴木義鳳
鶴ヶ城老木の櫻に若葉萌え
八潮七 茂村つ留
春詠会みどりに響く鉦と鈴
《評》季節感が重ならないようご注意ください。

三郷市

〇ふるさと四季の風 原田泰治の世界展
失いつつある人々の郷愁や美しい自然、その中で生きる人々の優しさや暖かさを語りかけます。
期 間 7月19日(土)～8月3日(日)、午前10時～午後6時※7月22日・28日は休館、金・土曜日は午後7時まで
場 所 三郷市文化会館
入場料 一般500円・高校生以下200円
問い合わせ 三郷市文化会館 ☎58-9900

吉川市

〇ワンダーランド子ども音楽会出場者大募集
子どもたちと楽しいひとときを過ごしませんか。
日 時 6月29日(日)、午後2時～4時
場 所 児童館ワンダーランド
内 容 個人演奏の部・グループ演奏の部・ファミリー演奏の部
申込期限 6月22日(日)まで
申込先・問い合わせ 児童館ワンダーランド ☎81-6811

行きたいな なりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

越谷市

〇松竹大歌舞伎公演
日 時 7月10日(木)、午後6時開演
会 場 サンシティ・越谷市民ホール(東武伊勢崎線新越谷駅・JR武蔵線南越谷駅下車徒歩3分)
出 演 中村吉右衛門ほか
入場料 特等席4500円・一等席4000円・二等席3500円・全席指定・前売り券発売中
問い合わせ サンシティ・越谷市民ホール ☎85-1111

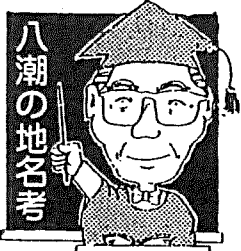
草加市

〇朝顔市
大輪のあんどん型の朝顔2000鉢、せんべい・ゆかた・皮革製品などの地場産品、新鮮な野菜・花きなどを即売します。
日 時 7月6日(日)、午前7時から(雨天決行)
場 所 草加松原遊歩道
問い合わせ 草加市観光協会(市役所商工課内) ☎22-0151 ☎3662

松伏町

〇B&G海洋センタープールがオープン
期 間 6月21日(土)～9月30日(日)、①9時～11時30分②13時30分～16時30分③17時30分～19時30分
利用料金 大人400円・小中学生200円・幼児は無料(付添いが必要)
休館日 毎週月曜日・毎月第三火曜日・祝日
問い合わせ 松伏町B&G海洋センター ☎92-1291

八潮の地名考

郷土の歴史
325

八條の地名
その参

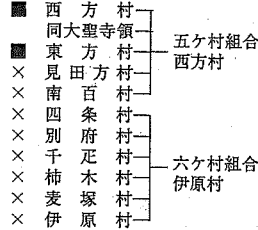
八條領 中世の八條郷の地域は、近世初期の頃は「騎西郡八條之内八條村」などと記され、正保元年（一六四四）ごろより騎西郡の表記が代わり、「埼玉郡八條之内八條村」としるされるようになった。寛文・延宝期（一六六一—一七二一）ごろになると「埼玉郡八條領八條村」と記すようになって、八條領と呼ばれた。八條領内は、三五か村の村があったが、近世後期ごろになると新田村が独立し、三七か村となった（越谷市・草加市・八潮市）。

近世における領とは、地縁的村落共同体や有力武士の支配地などを〇〇領と呼んだ。一種の行政単位で、

同一領内の用排水の管理や入会権の共有などの地縁的共同体の性格が強かった。八條領の場合、中世の八條郷域で、江戸期の八條用水の水利圏域が領域となっていた。

江戸期の八條領の支配は、寛文三年（一七六三）から幕末まで見田方村などの八か村が忍藩領、寛文二年（一七六二）から幕末までの伊勢野などの八か村が森川下総守領、寛文二年（一七六二）から幕末までの浮塚村などの三か村が森川主水領、寛永四年（一六二七）から幕末までの中馬場村が幸田領となっていた。その他の村は、ほぼ江戸期を通して幕府領であった。

八條村寄場組合



八條村
鶴ヶ曾根村
二丁目村

三ヶ村組合
八條村

青柳村組合
青柳新柳堀野之宮袋
木川伊大古坂

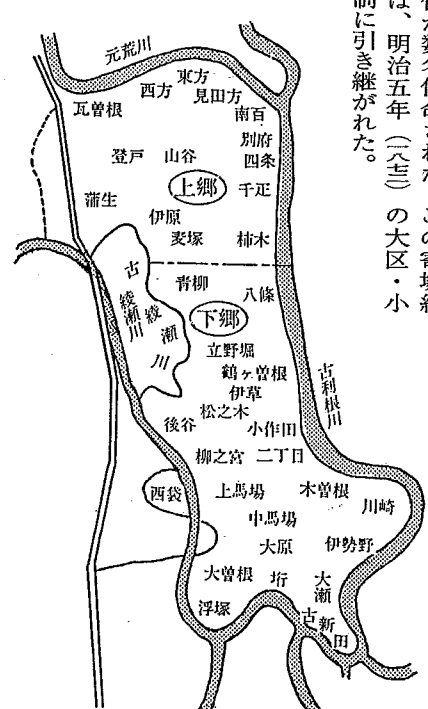
六ヶ村組合
木曾根村

小作田村
上馬場村
中馬場村
○□中馬場村
○●大原村
○大曾根村
大曾根村新田
○●浮塚村

八小

○印一森川下總守領
△印一奈須民部卿領
□印一幸田家領
×印一忍藩領
●印一森川主水領
▲印一堀治部卿領
■印一万年家領

八條領の近世村落



組合が組織され、身分相應の人物が小惣代に選ばれ、小惣代の内から大惣代が数名任命された。この寄場組合は、明治五年（一八七二）の大区・小区制に引き継がれた。

文
芸
欄

吳美代選

詩

タロー(飼い犬) 伊草 中山靖子
雨上がりの朝
タローが瘦せた犬の腰にしがみつき
荒い息をしている

短歌

二丁目 栗原幸子
瓦高^{いなか}く成田御堂^みの大前に
祈る吾らに吹くみどり風
二丁目 田中祐子
老いてなお謙虚に言葉選びたる
臥す身の姑に日日教えられ
木曾根 高谷多門
母の日に肩寄せ合いて並び居し
父も夢路に還り来るかな
南後谷 杉村セツ
作品展出展めざし競い合う
熟年^{じゅねん}女の生き甲斐を見る
浮塚 金子壽一
年々に人家増えきて田も畑も
梶界より消ゆ我が古里も
八潮五 林 悦子
五月雨夜十三弦もなつかしく
今はなき女しのびつつ弾く

俳句

二丁目 田中 忠
 豊かなる中川の流れによしきりの
 燃えて鳴く声夏を告げたり
 二丁目 田中元三
 動乱のみち若き日に歩み来て
 老いて今踏む平和なる道
 俳句
 二丁目 平井石龍
 恋の灯をともしつ遊ぶ螢かな
 春愁や点滴刻をさきみをり
 風呑んで膨む鯉や父母の愛
 八條 杉村知香
 気晴らしの小さき買物梅雨晴間

牡丹咲く一つ一つに父の顔
 壱 沼野あい 水面の小刻みに揺れ花菖蒲
 一日をフル回転の梅雨晴間
 小作田 藤波ふみ 散り終えし菜の花日々実を育て
 竿竹屋売り声高く梅雨の空
 鶴ヶ曾根 平本愛子 万緑や木々それぞれに森となり
 梅雨晴れて竿弓形に干されおり
 南後谷 小田三重子 伊佐須美の社彩る杜若
 雨降つてあじさいの花の色芽える
 八潮六 藤崎政子 姉よりの電話待つ夜の遠蛙
 汗疹やしゃきつとなりていざ出陣
 八潮五 西森八重子 安らかな寝息聞きつつ夏に入る
 五月晴れ雑事が乱する昨夜の計
 小作田 風間年子 晩学の絵心なるや夏あざみ
 初孫の乳母車にも初夏の風
 八潮四 中村智代子 将門塚に読めぬ梵字や若葉雨
 籠鳥に雀寄り来る梅雨晴間
 八潮三 中村智代子 評短歌も俳句も投稿が多くありません
 品を十分推誠して出されますようお願いいたします。

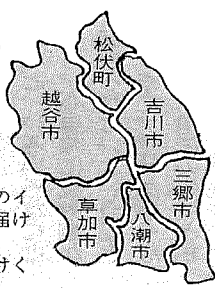
 吉川市

○吉川八坂祭り
神輿 8 基や山車 8 基余りが繰り出す勇壮な夏の風物詩。五穀豊穡・悪疫退散を願って行われ、神輿競演は、「あばれ神輿」として知られています。
日 時 7 月 13 日(日)、午後 6 時 30 分～8 時
場 所 いちょう通り(ＪＲ武蔵野線吉川駅下車・北へ徒歩 10 分)
問い合わせ よしかわ観光協会(吉川市商工課内)
☎82-5111(内 25)

越谷市

○水上フェスティバル・花火大会
日 時 8月2日(土)、午前10時〜午後9時
会 場 越谷市役所わき葛西用水(東武伊勢崎線
越谷駅下車徒歩7分)
内 容 水上フェスティバルは段ボール船競漕、
水上障害物レースなど。花火大会は午後7時から
問い合せ 越谷市商業観光課 ☎64-2111・越谷
市観光協会 ☎66-8111

行きたいな
なりまち



近隣4市1町のイ
ベント情報をお届け
します。
ぜひ、お出かけく
ださい。

松伏町

○第7回平成の楽市楽座
どなたでも気軽に参加できるフリーマーケット・物々交換などを行う「市」を開催しています。
日 時 7月27日(金)、午前9時～正午、雨天中止
※毎月第4日曜日が開催予定日です。
会 場 リサイクルふれあい広場
交 通 北越谷駅東口から「エローラ」行きバスで「ゆめみ野」下車、徒歩5分
問い合わせ 松伏町商工会 ☎92-1771

三鄉市

○ふるさと四季の風 原田泰治の世界展
失いつつある人々の郷愁や美しい自然、その中で生きる人々の優しさや暖かさを語りかけます。
期 間 7月19日(土)～8月3日(日)、午前10時～午後6時※7月22日・28日は休館、金・土曜日は午後7時まで
場 所 三郷市文化会館
入場料 一般500円・高校生以下200円
問い合わせ 三郷市文化会館 ☎58-9900

Краснодар

○第3回奥の細道文学賞作品募集・テーマは「旅」
募集内容 奥の細道の旅、さらには広く日本の旅
を対象とした紀行文・評論・随筆で400字詰め原
稿用紙35枚以内
賞 品 文学賞（1点）受賞者には正賞と副賞10
0万円を贈呈
締切期限 11月30日
詳しくは 草加市交流文化課 ☎22-0151 ☎1591



八潮の地名
その四

八條村 近世初期から明治二三年にかけての大字八條の地名。
近世期の八條村は、古利根川(現中川)右岸の自然堤防上に集落が形成された村で、南は鶴ヶ曽根村・二丁目村、西は青柳村・立之堀村(現草加市)・伊草村・松之木村、北は柿木村(現草加市)・東は古利根川(中川)を界して葛飾郡二郷半領・彦村・彦成村・彦名村・上彦川村・下彦川村・彦野村・彦倉村(現三郷市)等と接した。
江戸期の八條は、正保年中(一六四一)まで崎西郡八條之内、それ以降は埼玉郡八條領に属し、天正一八年(一五九〇)に徳川氏が入府のおりから直轄地で代官支配であった。小名は入谷・高木・和ノ村・宿・新田・幸ノ宮・中島等の村組に別れる。八條は近世初頭まで奥州街道の宿場地で、寛永七年(一六三〇)に日光街道が草加宿におかれると宿場から外れ在方となるが、その後も下妻道の中継地として大原村・吉川村・草加宿・流山への馬継ぎをした。また八條の渡しは、村持ちの渡船場で、代々太田家が渡船場の船頭を勤めてきた。検地は、寛永四年(一六二七)・寛文四年(一六六四)の検地村高一二五五石、元禄八年(一七〇三)の検地では反別一七〇町九反七畝二九歩、石高一四二七石八升四合、その内田が一六町一反

余畑が五四町八反余の水田優位の村落。内九畝一〇歩は郷藏敷地。持添新田(本所上水堀跡)の検地は享保一六年(一七三二)で地積四反歩、石高二一斗余などであった。石盛は、水田が上一二・中一〇・下八・下六、畑が上一〇・中八・下六・下四、屋敷一〇であった(八條領石高反別田畑石盛手控)。元禄検地のおり町方として検地されるほどの集落地で、検地役人酒井河内守に再検地を願ひ出て在方扱いとなった(八條会田家文書)。文政期の家数は一八二軒、天保六年(一八三三)の八條領村鑑(八潮市史料編)によると家数一六六軒、人別八五八人、医師一軒、人口八五六人の村であった。御朱印等は慶安元年(一六五〇)に大経寺が三石、清勝院が一五石、除地は清蔵院が一町八畝一〇歩、持昌院が四反三畝一四歩、正蔵院が一反七畝、西勝院が三町一二歩、正光院が二畝一六歩であった(八潮市史料編近世一三六)。河川用排水路は、八條用水路が四七六間、古利根川中川筋漢刈組合が五四四間等の管轄とな

つていた。なお通称「矢野又右衛門堀」という八條用水の支流の用排水路がある。この水路にまつる哀話に、水不足で苦しむ八條の村人を救うため、私財を投げうち水路を開削し、完成後、心労でなくなり矢野家は没落したと伝え、新田親音堂脇に矢野家の葬地がある。八條には、和井田家住宅や会田家住宅等の古民家が残るが、太田家住宅は安政二年(一八五〇)の創建の旅館造りである(八潮の民家と社寺建築)。なお太田家は元禄期頃から八條宿の宿屋を、津田大津が文政六年(一八二四)四月二日に八條の渡しを利用したとき太田屋に立ち寄ったことを「遊歴雑記」に記している。寺は眞言宗清蔵院・西勝院・正蔵院・正光院・浄土宗大経寺・前法寺・曹洞宗持昌院・天台宗行人派正海坊等の八か寺と寮五軒があった。なお清蔵院は宝徳元年(一四四九)、西勝院が長享三年(一四六三)、前法寺が天正三年(一五七五)、大経寺が天正一四年(一五八六)、持昌院は永禄一〇年(一五七〇)ごろに開山した。神社では八幡

神社が宝徳元年(一四四九)に勧請されている。文化財関係では、埼玉県指定文化財で鎌倉後期の絹本着色虚空蔵菩薩像(清勝院)、近世初期の円空作木造千手観音立像(大経寺)、市指定文化財では八條殿社古墳や弘安七年銘板石塔婆(八幡神社)、藤原期の木造不動明王立像(室町末期の山門と絹本着色理趣会曼陀羅圖(清勝院)・室町期の紙本着色八條殿社神像(新井氏蔵)・中世館跡の和井田家屋敷地や一七世紀末の和井田家住宅長屋門(和井田氏蔵などがある)。
その後八條村は、明治維新期に小菅県、明治四年に埼玉県管轄の村となった。明治一二年に南埼玉郡八條村となつて、明治二三年の町村制の実施に伴い、八條村の大字になり、今日に至る。

文芸欄

吳美代選

詩

アキちゃん 八條 堀切佐知子
「ボク歩けるんだー」というように
紙おむつでふくらむお尻を振り振り
アキちゃんはよちよち歩いていく
「お上手、お上手」と手をたたくと
ヨダレを垂らし、につこり笑う
目新しいものを見つけると
「アッ」と目を輝かせる
小さな指で電話のボタンを押したり
ガラス窓をパンパン、テーブルをトントン、鍋の蓋やおたまをなめたり
片付けても片付けても、部屋の中は
散らかる、私ははらはらし通しだ
外では雀のヒナが
樹木の枝から枝へ飛び交っている
(評)歩き始めた赤児の可愛い姿が目に見えるようです。

短歌

鶴ヶ曽根 安藤知晃
夏の夜の怪談話にはあらず
少年が童を切り刻みたり
二丁目 田中祐子
わが胸を触れて無心に首かしげ
物言いたげな姑に苦笑す
鶴ヶ曽根 木内恒好
片麻痺の身の悲しかり初孫に
触るるも抱くも意の儘ならず
八潮八 石井ナミ
還暦の霜置く髪を洗い上げ
のぞく鏡に亡き母を見る
浮塚 金子壽一
手のひらに乗りむばかりの南瓜にも
捕えがたき深き色あり
二丁目 田中 忠
豊作の祈願ふると夏祭り
夜風が送る太鼓打つ音

俳句

南後谷 杉村セツ
去年までかやとんぼに夢中な孫
今年は野球に夢あふらせ
小作田 神場悦子
夕暮れの白馬の麓静まりて
久しく聞ける日暮らしの声
小作田 風間年子
母逝きて三年過ぎしわが胸に
今も棲み居し声のさすらう
西袋 広瀬とよ
新盆の軒場にゆれる提灯に
卒寿の姉は笑みてうつれり
柳之宮 平沼良子
晴れ渡る羅白の地より目前に
外国といふ国後眺む
大曾根 小倉義孝
夏空や風のまにまにちぎれ雲
鳥になったり馬になったり
木曾根 高谷多門
畔道を玉葉かえて小さなる

俳句

二丁目 田中元三
母の姿に夜を目覚めし
親と子の固き絆も綾取りの
如くもつれてとけぬ日もあり
二丁目 平井石龍
ウマウマと片言が指すさくらんぼ
宙に浮く妙技を観る阿波踊り
八潮六 藤崎政子
十重二十重しはられ地蔵の夏つらし
夏便り夜風も添えて投函し
八潮五 西森八重子
父の日やまだある老の力説く
柳之宮 加藤龍子
手すさびの紙人形や夏小袖
朝顔の蔓断ち切りて風去り
八潮八 浅田淑子
橋のない川の作者や梅雨に逝く

俳句

小作田 藤波ふみ
通り雨虹の橋かけ夏陽落ち
八潮五 林悦子
花しよぶ水元の菰うめつくし
八潮七 石井忠枝
闇のなか一声轟く牛蛙
鶴ヶ曽根 平本愛子
渋滞の車越す舟夏の川
南後谷 小田三重子
せみの声夏の深まりおもい知る
八潮七 鈴木義鳳
ラベンダー河口湖畔に彩を添え
八潮七 狩野タマ子
ニラの花ふと足とめて父母思ふ
八潮七 小倉義孝
梅雨晴れの竹織物美術館
八潮七 茂村つ留
ふるさとのなき淋しさや夏の旅
(評)短歌も俳句も数が多いので載せきれません。一つの作品に集中され、完全に仕上げてからお出し下さい。

越谷市

〇だるまの顔描き・せんべいの手焼き教室
日時 8月20日(水)、午前10時~正午
会場 松崎達磨産業(越谷市下間久里1312)
内容 だるまの製造工程の見学、だるまの顔描き、せんべいの手焼き体験
定員 20人(申込順)小学生以下は保護者同伴
参加費 1500円
問い合わせ 越谷市観光協会 ☎66-6111

松伏町

〇B&G海洋センター・プールオープン中
利用時間 9月30日まで、①9時~11時30分、②13時30分~16時30分、③17時30分~19時30分(③のみ中学生以下は保護者等の送迎必要)
利用料金 町外...小中学生200円、大人400円、幼児(付添い必要)無料
休館日 毎週月曜日、毎月第3火曜日・祝日
問い合わせ 松伏町B&G海洋センター ☎92-129

草加市

〇ラジオ体操2000人のつどい
日時 8月31日(日)午前6時
会場 草加松原遊歩道(百代橋~ハーブ橋間)
(雨天時は市民体育館)
交通 東武伊勢崎線松原団地駅下車徒歩5分
参加 自由
問い合わせ 草加市ラジオ体操連盟・田辺 ☎27-8330

吉川市

〇第1回吉川市水泳大会
開催日 9月7日(日)
場所 吉川市屋内温水プール
対象 小学生~高齢者
内容 自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、個人メドレー、リレー(年齢別に行う)
費用 小学生~高校生200円、一般500円
問い合わせ 8月20日(水)までに吉川市屋内温水プールへ ☎81-6452

三郷市

〇77みさとサマーフェスティバル
日時 8月24日(日)午前10時~午後4時
会場 三郷市役所駐車場・市民広場
交通 武蔵野線三郷駅から三郷市役所経由松戸駅行きバス「三郷市役所」下車
内容 こども広場(昆虫ジャングル、工作教室、将棋まつり、じゃぶじゃぶ池、人形劇など)・フリーマーケット
問い合わせ 三郷市商工会 ☎52-1231

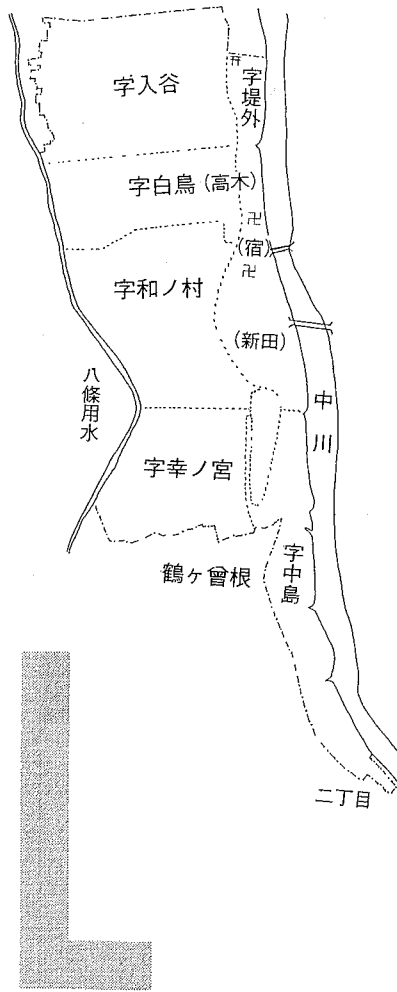


八條の地名 その五

入谷 江戸期の八條村の地名に幸
ノ宮 新田 宿 中島 和ノ村 高
木 入谷(「新編武蔵風土記稿」など
の呼称があった。小名とは、村や町を
小分けした小字や地字、坪名などのこ
とで、八條村の場合は集落名が地名と
なっていた。

入谷とは、八條郷の本郷、八條の入
り口に当たることに因む。八條地方に
ては、古くは谷を「い」と呼称し、鳩ヶ
谷(はとがい)、越ヶ谷(こしがい)、熊
ヶ谷(くまがい)などと呼んだ。慶長八
年(一六〇三)の立野堀(草加市)の新田開
発史料に「定八条谷たての堀新田事」

八條の字地



書記載の入谷は、本村西ノ方ニア
リ、東西四丁四十間、南北六丁」と記さ
れる。
(入谷) 字名の入谷は、東西は中川
堤から八條用水付近まで、南北は入谷
落しから大境道(市道二〇四号)ま
での範囲である。
高木 高木は、江戸期の小名で、高
い木が茂っていた所からと、下総高
木氏一族が土着したことと因む等と
言われ、現町会名となっている。高木
は、字白鳥と字堤外の範囲である。

文芸欄

呉美代選

詩

夏の終わり 伊草 都築紀子
セミの鳴き声が途絶えた
遊歩道を歩く老夫婦の歩幅に
川の流が寄り添ってゆく
言葉のいらなくなった二人の時間
風が秋をしのばせ
かすかに水面を揺らしている
窓の下のおしろいの花
宮のまつりばやし
水面にセミの亡骸を浮かべて
水路は街を通り抜ける
両岸の夏草が小さな実をつけている
みこしをかつぐ掛け声がする
トンボがすいと身を交し宙を切った
《夏》の終わりと人生の終末とを重
ね祭りを背景に巧みに詩にしておら
れます。

短歌

甲子園熱血たぎる若人が
闘志燃やして球場に立つ
小作田 風間年子
炎天下みどり色濃く苗育ち
風にうねりて海原のごと
二丁目 田中 忠
親も子も町会あげて盆踊り
夜空にひびく太鼓打つ音
浮塚 金子壽一
クイズにもバズルにもあき聞えくる
雨降る音に心ときめく
中央三 林田勝子
娘の撮る一夜かきりと咲く花は
香りも高き月下美人なり
小作田 神場悦子
読経聞かれ父思ふ荒行の
若き僧侶は汗ぬぐいたり

俳句

盆近し庭の手入れに精出せし
親父を偲びわれも枝切る
二丁目 田中祐子
老し姑目覚めは早くチュンチュンと
雀鳴く音を高く真似す
八潮五 広瀬キク江
鈴虫の美声に聞き惚れふと黙し
夫婦喧嘩もひと休みする
木曾根 高谷多門
裸婦の絵の乳房を見れば若き日の
母の姿を哀れにも想う
二丁目 田中元三
天気予報いずれを聞くや戸惑いぬ
吾れ住む街は県境にあり
《夏》一首の中に文語と口語とが入り
交っているのがあります。ご注意ください。

松伏町

○松伏町鉄道フェア
日時 9月27日(土)・28日(日)、午前10時～午後3
時30分
場所 松伏町中央公民館
内容 鉄道模型・写真展示、鉄道ビデオの上映、
ミニSL試乗会(27日、雨天の場合28日)ほか
交通 北越谷駅東口から「エローラ」行きバス
で中央公民館下車
問い合わせ 松伏町企画課 ☎91-2711

草加市

○草加市民まつり
日時 10月18日(土)・19日(日)、午前10時～午後9
時
場所 草加松原遊歩道周辺
内容 子どもたちによる往時の大名行列・ミス
草加コンテスト・仮装行列など
☆市民体育館で商工会議所まつりも同時開催
問い合わせ 草加市コミュニティ室 ☎22-0151

三郷市

○第30回市民文化祭三郷市美術展覧会
日時 9月21日(日)～28日(日)、午前10時～午後5
時(22日(月)は休館日)
場所 三郷市文化会館
交通 武蔵野線三郷駅下車徒歩13分
内容 洋画・日本画・彫刻・書・工芸・写真
問い合わせ 三郷市生涯学習課 ☎53-1111

越谷市

○第23回越谷市民まつり
日時 10月5日(日)、午前9時～午後4時
場所 越谷市役所周辺(東武伊勢崎線越谷駅下
車徒歩7分)
内容 ミスこしがやコンテスト・交通安全パレ
ード・フリーマーケット・各種模擬店
問い合わせ 市民まつり実行委員会(越谷市役所
交通防災課内) ☎64-2111

吉川市

○親子バスハイク
紅葉の中、ハイキングなどで楽しみませんか。
日時 10月18日(日)
場所 千葉県手賀沼
対象 一般・親子(小学生以上)
定員 90人(先着順)
費用 大人2000円・小人1000円
※申し込みは9月7日(日)から
問い合わせ 吉川市総合体育館 ☎82-6800

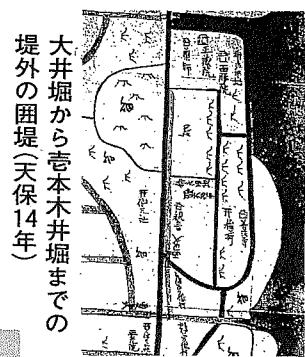


八条の地名 その六

新田 江戸期にみえた小名で、地
名は中世八條宿の、新開地に因む。
新田は、北は大経寺から南は横土手
付近、東は草加成線、西は西の堤
までの区域。町会の二和耕は曾ての
下組(下宿)と新田の地域である。
現在の字地は字堤外の南方に位置す
る。行政区名は一和耕に属する。
堤外 明治以降から使われた耕地
名と字地名で、川の水が流れる
側に因む。堤外は、今ではイガイ
と発音されるが、昭和四十五年頃
は、ツツミントと呼んでいた年長者
がいた。いまとなつてはどちらが正
しいか、不確かとなつてゐる。堤外
の範囲は、入谷から高木、一和耕、
二和耕までの、北は八幡神社裏より
南は横土手(緩瀬川放水路)、東は中
川から西は下妻道(市道三三三線)・
西の堤(三三三線)の範囲である。
(堤外耕地) 地租改正(明治九年
から用いられた字地名。明治九
年の『村誌取調書』には、「堤外耕地
本村東二連り、東西五丁三十五間、
南北十五丁」と記され、字地名に「テ
イグワイ」と朱筆される。
(字堤外) 大字八条の字地名。伊奈
備前守忠次が慶長年間に古利根川(中

川)の河川敷を広く取り、自然堤防
の一番高いところに本堤を築いた。
この堤は備前堤とも呼ばれ、河川沿
いの土手を孫堤と呼んだ。そのため
本堤の「下妻道」から「西の堤」の
東側が堤外となり堤外と呼ばれた。
和耕に住まう市民の方で、市役所で
公図を取り寄せたおり、自分の土地
が「堤外」であることに驚いた方が
多いのではないだろうか。
和ノ村 江戸期の小名及び現在の字
地名。地名は、土地が軟らかい湿地
地によるとか、和井田一族の開墾地
に因む等と言われ、近世期のムラ組
が字地名となる。また四方が堤に囲
まれる囲い堤の「輪」に因るとの見
方もある。北は草加道(三三三線)・
号線から南は菅本木井堀(三三三線)
まで、東は西の堤から八条用水路ま
での区域。
(和ノ村耕地) 地租改正ころから用
いた字地名。『村誌取調書』には「本
村西ノ方アリ、東西五丁二十間、南
北三十丁」と記される。
(字幸ノ宮) 大字八条の字地名。
中島 江戸期の小名及び現在の字
地名。地名は、旧利根川が二流に流
れて中の島に因む。また中島兵庫(関

根)一族の開墾地に因むとも言われ
る。北は横土手から二丁目境まで、
東は中川から西は鶴ヶ會根境までの
南北に長い地域。
(中島耕地) 地租改正ころから用い
た字地名。『村誌取調書』には「中島」
と記し、「木村辰巳ノ方二連り、東西
式丁三十間、南北十六丁十間」と記
される。
(字中島) 大字八条の字地名。



文芸欄

吳 美代選

詩

手術

土澤弘子

カーテン越しの隣の診療台の人の
手術がはじまった
「痛い、イタッ、あーっ」と叫ぶ声
カーテンがゆれる。私と同じ患者だ
私は体を固くして組板の魚になる
カチャカチャと医療器具の音
時計の針が目が追う。今度は私の番
緑一色で頭も体も覆った医師と助手
目だけが光っている
緑の布の上に私の手を開かせる
助手がその手を念に消毒し始めた
私は頭も心もまっ白になる
医師は麻酔の注射を私に打つと
助手から手渡されたメスを握った
(評) 何の手術なのでしょう。手術
前の緊張感が伝わってきます。

短歌

二丁目

田中元三

散り敷くも香り失せざる木犀の
花を避けつつ雨の下歩す
梅雨あけて空に湧き立つ夏雲に
今日は私の誕生日よと告ぐ
南川崎 伊本則子
出勤の夫送り出す朝はらけ
霧深々と外灯にじみて
八潮八 浅田淑子
山々は霧に包まれ念願の
富士見ぬままに帰途につきたり
南後谷 杉村セツ
新学期日焼けた孫いきいきと
登校への道足どり軽く
浮塚 金子壽一
新築の資金捻出作戦に
結婚記念日忘れていたり

俳句

八潮五

林悦子

玉蓮の花々に咲き初む
(評) 残念ながら載せられない作品
もありました。十分推敲なさってください。
八潮五 小島しず子
千波湖をはるか彼方に三部咲きの
萩の花みゆけ楽園で
小作田 神場悦子
降りしきる雨の山道登り来て
一列に並ぶ化地蔵あり
小作田 風間年子
夕映えの甲斐の山々陽に染まり
静かに暮れゆく山峡の里
二丁目 田中祐子
天井を見詰めにこつと微笑みて
訳も無き姑われを素直にす
二丁目 田中忠
いつとなく残暑も去りて秋深し
ふるさとの野辺実りゆたかに
木曾根 高谷多門
終戦の間に散りし父想う

俳句

中央一

山角微陽

木洩れ日に水引草の紅光る
君は逝き我は雲追う今朝の秋
あ言えばこつと夫夫婦ひね南瓜
平凡な日々の一ひやきのこ飯
八潮八 石井ナミ
姿なく川面ゆるがす牛蛙
鶴ヶ會根 平本愛子
秋草や小部屋に似合う頃となり
八潮一 鈴木多津子
紅の細枝にふ石榴かな
坊 沼野あい
組体操土にまみれし運動会
八潮五 西森八重子

俳句

八潮七

石井忠枝

コスモスの揺れて誘う観音寺
塀渡る猫の目光り秋の月
ちらほらと秋咲き初めて夏暮るる
八潮七 小倉孝義
軒先や猫の監視で秋刀魚焼く
選挙車去りて閑ゆる虫の声
小作田 藤波ふみ
あき家の庭も賑わう秋の虫
大曾根 小倉孝義
秋分やのぼしのぼしの形見わけ
手のひらも雨傘になるにわか雨
八潮七 茂村つ留
掛け声に血潮もおどる秋まつり
秋台風ふるさとの地を吹き荒れる
二丁目 平井石龍
流れ星はつりばつりと友が近く
炎天へ出て忘れ物思い出す
(評) 熟達され、面白い句がありました。

草加市

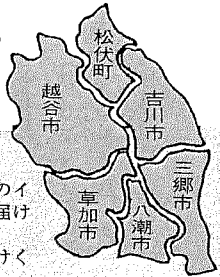
○奥の細道・芭蕉講演会
日時 10月18日(土) 午後1時から
場所 アコスホール
内容 国文学者尾形ゆき子の講演『「おくのほ
そ道」自筆本の出現をめぐって」、作家本田成親
さんの講演「旅と私」
入場料 無料(整理券必要)
問い合わせ 奥の細道まちづくり市民推進委員会
事務局(草加市交流文化課内) ☎22-0151 ☎1591

三郷市

○男女映像フォーラム
日時 10月11日(土) 午後1時30分～5時
場所 鷹野文化センター
内容 「マディソン郡の橋」上映、松本侑子
さん(映画評論家)を迎えてのフォーラム
定員 300人(申込順)
交通 武蔵野線三郷駅から金町駅行バスで「八
木郷橋」下車徒歩3分
問い合わせ 女性政策課 ☎53-1111

行きたいな となりまち

近隣4市1町のイ
ベント情報をお届け
します。
ぜひ、お出かけく
ださい。



松伏町

○ふれあい松伏フェスティバル'97
日時 10月19日(日) 午前10時～午後3時
場所 松伏記念公園
内容 スーパーチャレンジサイコロゲーム、松伏
音頭コンテスト、フリーマーケット、物産店など
(雨天決行)
交通 東武伊勢崎線北越谷駅北口からエローラ
行バスで松伏高校前下車
問い合わせ 実行委員会事務局 ☎92-1771

越谷市

○第5回こしがや紅葉能
日時 10月18日(土) 午後2時開演
場所 こしがや能楽堂(雨天時はサンシティ大
ホール、会場の判定は午前10時)
演目 能、狂言、舞囃子、仕舞
入場料 一般4500円、学生2500円
入場券 社会教育課 ☎64-2111、こしがや能楽堂
☎64-8700、サンシティ越谷市民ホール ☎85-09
99で発売中

吉川市

○男女共生夜間講座～家族と私、そして私が働く
ということ～
日時 10月14日～11月18日の毎週火曜日全6回
午後7時～9時
場所 市役所第2庁舎204会議室
内容 家族をもった女性が、働くとうるとき、
障害となる様々な問題について学習する
費用 無料
問い合わせ 市民参加推進室 ☎82-5111 ☎162